



水菜の収穫作業を行う榎原義史さん

〔多様な担い手による安定的な農業経営体に向けて〕

「農業は頑張ったことがきちんと戻ってくる 職業」の信念のもと農業の世界へ

新規就農・若手農業者



国の補助事業である「新規就農定着促進事業」を活用して整備した施設

久留米市では、毎年20名程度の若者が新たに就農しています。

北野町の榎原義史さんは、勤めていた会社を退職し、平成21年に就農した次世代の久留米の農業を担う若手農業者のひとりです。

榎原さんは、農業をやっている友人から話しを聞くうちに、「農業は頑張ったことがきちんと自分に戻ってくる職業」だと感じるようになり、就農を決意しました。

就農後は、多くの友人から技術的なサポートを受けるとともに、自ら様々な情報を入手し、創意工夫しながら農業経営を行っています。